

令和4年度 福知山商工会議所 経営発達支援計画 事業評価シート

事業内容	実施項目	目標	結果	事業の活用および効果	委員評価
1. 地域の経済動向調査に関する事	市内企業業況調査	4回	4回	前年度からの市内企業業況調査・新型コロナウイルス感染症に係る附帯調査と合わせ、ロシア・ウクライナ情勢による影響調査を追加して、小規模事業者や地区・業界の経済動向や課題等の把握に努めました(回収率は全体で44.2%)。また、回収したデータは、小規模企業振興委員の諸活動に活用できるよう参考資料として毎回フィードバックするとともに、当所会報とHPに様々な機関・団体の統計データを一元的に集約することで、タイムリーかつ広く情報を発信しました。	A
	小規模企業振興委員地域・業界調査				
	延べ回数)	132回	132回		
	提供件数)	13件	44件		
	二次データの収集取りまとめ	随時	随時		
2. 経営状況の分析に関する事	経営分析セミナー			セミナーにより、経営分析手法の説明とワークによる作成支援をしました。また、府補助金申請書類にSWOT分析表の添付を当所独自に必要な条件とする事で、分析手法の定着と課題の掘り起こしが図られ、経営課題の改善に繋がりました。	B
	開催回数)	2回	1回		
	受講事業所数)	70件	8件		
	経営分析件数	70件	73件		
3. 事業計画策定支援に関する事	事業計画作成セミナー			経営分析セミナーと連動させる事で、事業計画書を事業者自らが作成できるようスキルアップを図るとともに、事業計画の作成が事業の継続・発展に必要なものである認識を高めました。また、コロナ禍により支援機会が増加した事で、事業計画作成数は目標値を大幅に上回りました。商圏分析レポート(地域特性や傾向・需要動向等)については、支援員10件/1人を目標に資料を提供して今後の活用を促しました。	A
	開催回数	2回	5回		
	参加事業者数	50人	60人		
	事業計画作成数	50件	212件		
	内、創業計画)	10件	56件		
	内、第2創業・事業承継計画)	5件	3件		
商圏分析レポート提供件数	55件	60件			
4. 事業計画策定後の実施支援に関する事	事業計画作成後			訪問やヒアリングにより遂行状況を随時確認し、売上推移など計画の達成が難しい状況では、速やかに課題の改善に努めました。また、専門家や支援機関との連携・各種支援施策の情報提供および活用など、必要に応じた支援を行いました。コロナ禍に伴う各種施策の活用が継続支援に繋がった事で、フォロー回数は大幅に増加しました。	A
	フォロー延べ回数	200回	318回		
	内、創業計画)	40回	84回		
	内、第2創業・事業承継計画)	20回	5回		
5. 需要動向調査に関する事	情報提供支援件数	非開催		消費者アンケートの実施を計画に盛り込んでいましたが、イベントの開催が取り止めとなりましたので実施に至りませんでした。今後、新たな活用機会を設けて実施したいと考えております。	-
	消費者アンケート	30人	1人		
	外部データ	30人	1人		
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	展示会・商談会開催情報提供件数	20件	当所HP	コロナ禍によりイベントの情報が少なかったものの、関西圏のイベントを中心に確認できた情報は適宜HPで発信し、商品やサービスの周知・販路拡大の機会を提供しました。また、福知山産業フェアの出展者を中心に、女性客をターゲットにした接客セミナーを開催し、イベント出展が有意義に事業に繋がるよう商談スキルの向上を図りました。	B
	内、展示会等出展件数(当所提供分のみ)	10件	未確認		
	内、商談成約件数	5件	未確認		
	福知山産業フェア及び物産展開催情報提供数	25件	当所HP/DM		
	内、物産展等出展件数(産業フェア以外)	13件	89件		
	内、前年比売上10%増加件数	5件	未確認		
	物産展出展セミナーの開催	1回	1回		
	参加事業者数	30人	15人		
プレスリリース発信支援件数	15件	5件			
II. 地域の活性化に資する取組	福知山お城まつり開催	4月	5月	コロナ禍で規模を縮小しつつ、お城まつりと産業フェアは3年ぶりに開催をしました。商工会議所が中心となって様々な機関・団体が地域活性化に向けて意見を重ねることで、連携強化と事業の方向性を共有しました。また、各種イベントを機会に、地域資源の活用促進・地域の賑わい創出と活性化を促しました。	A
	福知山ドッコイセまつり開催	8月	8月		
	福知山産業フェア開催	10月	10月		
	福知山中心市街地活性化協議会開催	解散	解散		
III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上の取組	他の支援機関との連携を通じた情報交換			コロナ禍により様々な活動が制限される中、各支援機関との連携を図りました。特に、金融機関との連携として、金融相談会等を通じて金融情勢や資金需要の状況などの情報共有を行いました。また、府補助金を活用した専門家派遣事業により、各担当者と支援員が事業所へ同行するなど連携した支援強化に取り組みました。市商工会との連携として、金融支援や業況調査事業とともに、市と共に創業セミナーを開催して創業者の掘り起こし、伴走支援に努めました。福知山公立大学との連携として、オープンゼミナールを開催して事業者と大学が情報交換する機会を提供するとともに、学生が積極的に参画したイベントを開催するなど関係を強化しました。	A
	1) 日本政策金融公庫舞鶴支店	月1回	月2回		
	その他の地域金融機関	1回	43回		
	2) 府内商工会議所	1回	2回		
	3) 府中小企業応援隊	1回	1回		
	4) 京の農業応援隊	1回以上	1回		
	5) 福知山産業支援センター	随時	随時		
	6) 福知山市商工会	1回以上	33回		
	7) 京都工芸繊維大学	随時	0回		
	8) 福知山公立大学	随時	随時		
9) 観光地域づくりセンター	事業終了	事業終了			
経営支援員等の資質向上等			京都商工会議所や当所が主催する研修会・講習会に積極的に参加しました。また、例年の専門家(弁護士・税理士等)相談とともに、府中小企業診断士派遣事業を活用したOJTに積極的に取り組み、専門知識の習得・支援スキルの向上に努めました。研修会への参加や職員間による情報共有を密にする事で、複雑かつ高度化する様々な経営相談に対応できる組織体制を強化しました。	A	
1) 経営支援員研修会の計画的な受講	20H以上	26H			
2) その他の研修	随時	随時			
3) 講習会の主催によるスキルアップ	随時	16講座			
4) OJTの実施	随時	75回			
5) 支援員の情報共有	月1回	月1回			
6) 情報の共有	随時	随時			
7) 各種資格取得に向けた取り組み	随時	0件			